

畜産の祭典

第13回岡山県畜産共進会

高梁市で盛大に開催

第13回岡山県畜産共進会は10月10日から13日まで4日間、好天に恵まれた高梁市家畜市場で盛大に開催された。

今年は県、高梁市共催で県畜産農協連及び県酪農協会の後援のもとに開かれたが期間中は数々の協賛行事が行われ人出も多く大いに賑った。

会場にあてられた高梁家畜市場は本年敷地を拡張しその近代的設備を誇るもので出品家畜和牛乳牛合せて132頭をゆうに収容して余りある状況で、開会から引続き審査、展示及び褒賞授与式に至るまで順調に進捗したことは何よりであった。

10月10日開会式後和牛乳牛共に総体及び個体審査が行われ、11日、12日は引続き比較審査と入賞牛の展示講評が行われた。

最終日の13日は午前9時から上位入賞牛の展示が行われ引続き10時半より会場ドームにおいて褒賞授与式が挙行され知事代理荒木農林部長をはじめ高梁市長、県畜連会長、県酪農協会長、県議会議員その他来賓、出品者等多数の出席を得て盛會を極め、開会について荒木県農林部長（知事代理）柏木高梁市長の挨拶があった後、和牛乳牛別に審査部長からそれぞれ審査報告があった。

次で秋岡県議会副議長、大河県畜産農協連会長等の来賓祝辞があり荒木副会長より農林大臣賞及び県知事賞、優勝旗をはじめ各種畜産関係団体から賞状、賞品、優勝旗などが授与された。

なおこの席上畜産功労者2氏に荒木副会長より表彰状並びに記念品が贈られ最後に受賞者総代の挨拶があつて4日間に亘る共進会の幕を閉じた。

審査報告

第13回岡山県共進会の審査が終了いたしまして、ここに審査の概況を御報告申し上げますことは私の最も光榮とするところであります。

今回の出品家畜は和牛、乳牛の2種でありまして以下その各々について御説明申し上げたいと存じます。

第一部 黒毛和種々牛

和種々牛の部におきましては昭和31年6月10日までに生まれた登録牛又は登録資格牛で、県内産のもの、但し雄にあつては岡山県優良種雄牛生産育成要領に適合するものでありまして牡17点、牝76点でありました。

一. 審査方針

全国和牛登録協会、黒毛和種審査標準に準拠してあくまで現状をもって審査を実施しましたが、本県産牛の特質を伸ばし欠点を補うために従来から審査の重点としました。

体の繋り、資質、肢蹄、乳徴等の点につきましてはもとより、本年は更に本春改正されました審査標準の主旨に副いまして将来和牛の肉利用度を高めるという面から、背腰と腿、殊に下腿の改良並びに発育という3つの点を重要視して審査を行いました。

二. 出品区分

今回の出品を各郡市別に見ますと、牡におきましては、阿哲、新見の10点を筆頭に吉備、総社の3点、真庭の2点、津山、久米の各1点であり、牝におきまして上房、高梁、吉備の13点、総社、都窪、倉敷の各12点、真庭の6点、阿哲、新見、苫田、津山の各5点、勝田、小田の各4点、後月、井原、御津、赤磐、久米の各3点、児島の2点、和氣、浅口の各1点でありました。

三. 一般概況

今回の出品は各郡市の共進会を経て厳選の上出品されたもので、優劣の差が極めて僅少であり、特に本

岡山畜産便り1957.11・12

年におきましては、従来に比し体型、資質が均一し、大体に早熟性もあり、その成績が普遍化し一段とレベルが向上しておりましたことは、本県和牛改良上誠に御同慶にたえない次第で有ります。中でも牝牛はその個体差が極めて僅少でありました。

四. 細部所見

これを細部についてみますと、まず体型におきましては中軀殊に背腰と肋腹は、さすが本県産牛の特色としてほこる所でありまして、誠に立派であり、殊に雌牛においてはこの部位に欠点のあるものが殆んど見受けることが出来なかつたのであります。

更に体全体の釣り合い、肢蹄等も美点として認められましたが、後軀の形状の思わしくないもの、したももの充実を欠いているもの等が依然相当見受けられ、尚又毛色に難点のあるもの、乳頭の形の悪いものを数頭見受けたのであります。殊に乳徴につきましては、仔牛の正常な発育として点で極めて大切でありますから、今後更に関心をもって戴きたいと思ひます。発育の点では正確な測尺によりまして、科学的に検討いたしましたましたが、雄牛と2才雌牛は殆んどが体各部の発育が正常で有つたのであります。只3才雄牛につきましては、体高では出品の約半数が標準値に達しないものがあり、更に体長即ち体の伸びでは過半数が充分でなかつたのであります。要するに雄牛と2才雌牛が発育がよく3才雌牛の発育が悪いと言うことは、対照的でありまして、今後詳細に検討を要する点と思ひますが、本質的な早熟性という点の改良は勿論であります。今後一層飼養管理の改善、殊に仔牛の離乳期又は離乳直後の適切な管理に留意していただきたいと思ひます。今回出品の雄牛について言ひますと、種雄牛は申すまでもなく、和牛改良の基調でありまして県におきまして、遺伝的に優良なものとして認定した17点でありましたが、今一層飼養管理に留意願ひたいと思ひます。

次に主要出品地区別に見ますと、吉備、総社、都倉地区においては飼養管理が非常によろしいが、少し過肥に陥つたものを見ました。

阿哲、新見地区では出品牛がよく揃つていましたが、従来からの美点でありました体の緊り、肢蹄のよい点が失われつつある様に思われますのでいかに存じ

ます。

真庭地区では発育よく資質が非常によくなつて来ましたが尚背線、殊に背腰のゆるいものがありました。

苫田地区は発育もよく体積もありますが、体の緊りの乏しいものがありました。

高梁地区の出品は発育も良く体積もありますが、今少し被毛並びに緊りに留意を望みます。

勝田地区は最近は非常に改良されて来まして発育、体積共によくなつたと思ひますが、体の緊り、資質に今一步の留意を要します。

五. 短評

次に上位入賞のものについて短評を申し上げますと、雄の16号は前肢の肢勢と蹄に難点があり、中軀の幅と張りにもう少しの充実がほしい点、肩が少し前寄りに附着して稍立っていること、乳徴も幾分よくない等の点を差引いても大体均称良く後軀が優れていて他の出品牛よりぬきんでているし、将来後軀改良の基として優秀と認めたので一等にいたしました。

雌2才の58号は稍品位に乏しく粗野の感が有り尾根部の形状並びにしたもものに幾分の難点を認めますが、発育良好にして均称宜敷く体積に富み、特に背腰、肋腹、乳徴は優れて居りましたので之を首席としました。

50号は品位に富み均称宜敷く、各部の移行並びに背腰は良好で有りましたが、若干として稍行きつまつた感が有り歩様に難点を認めましたので次席と致しました。

次に牝3才の75号は稍雌としてもやさしく、角色、十字部、尾根部の形状に難点は有りますが品位に富み均称宜敷く骨緊り、背腰は優れて居りましたので之を首席としました。

92号は発育も正常で体積に富み、背腰、肋腹並びに筋腱の発育良好で有りますが、中軀の伸び、眼瞼の色より来る顔品並びに地低くの感が有りましたので之を次席と致しました。

六. 将来改良を要する点

(一) 本県産牛の欠点で有りました早熟性の点に付きましては可成りの跡が見られますが、尚将来肉利用度

岡山畜産便り1957.11・12

を高める点より今一層の御努力をお願い致します。

(二) 体型につきましては本春改正のありました点、即ちしたものの充実をかくもの、又十字部よりせん骨への移行の悪いもので体上線の平直でないもの、又後軀改善と共に今後特に注意を要する点で有ります。

(三) 最後に総体的の体型、資質の点では優劣の差が僅少となって来ましたことは改良の実績を示すものであり、原種を全国に供給する本県におきましては、優良種牛認定要領に則り、漸次遺伝的不良形質除去に充分考慮を払われまして今後種牛を選定することが必要であります。

最後に出品者並びに関係各位の絶大な御協力に対し深く感謝いたします。

審査にあたっては審査員慎重審議の結果

第一部 和種々牛

雄において

- 1等賞 1点
- 2等賞 5点
- 3等賞 3点
- 4等賞 8点

雌2才において

- 1等賞 4点
- 2等賞 5点
- 3等賞 16点
- 4等賞 18点

雌3才において

- 1等賞 3点
- 2等賞 6点
- 3等賞 13点
- 4等賞 13点

を選抜擬賞いたしました。

褒賞授与せられますよう謹んで申請いたします。

昭和32年10月13日

第13回岡山県畜産共進会

和牛審査部長 梶並久雄

第二部 乳用種々牛

一. 審査方針

審査に当りましては日本ホルスタイン登録協会のホルスタイン種体格審査標準により、特に本県の農業経営に適した乳用種牛の将来の改良目標をも加味して次の諸点に重点を置いて審査を行いました。

- (一) 乳用牛の特質をよく備えておるもの
- (二) 体重に富むもの
- (三) 乳器のよいもの

(四) 肢蹄の強健なもの

二. 出品区分

出品はホルスタイン種28点、同種系9点、合計37点で、その中未經産牛23点、経産牛14点でありました。これを酪農組合別に見ますと、高粱畜産農業協同組合連合会10点、旭東酪農業協同組合7点、北部酪農業協同組合6点、山陽酪農業協同組合6点、平津酪農業協同組合3点、浅口酪農加工販売農業協同組合2点、中備酪農業協同組合1点、和気酪農協会1点であります。また今回は特に県外産の部を設けたのでありますが、産地別には県内産30点、県外産7点でありました。

三. 一般概況

今回の出品は前回或いは近年数回開催されたものに比較しまして体型、資質共に良好で優劣の差が極めて僅少であり、飼育管理・調教馴致、出品技術等は何れも向上し、改良進歩の跡が歴然としております。これは平素皆様方が乳牛改良のために不断の努力を傾けられた結果でありまして、御同慶に堪えない所であります。

四. 細部所見

県内産未經産牛として出品されましたものは、月令18ヵ月より23ヵ月までの育成中のものでありまして、1号牛の外は全牛が種付を終っておりました。今回の出品牛は前年に比べて粒揃いのものであり、美点としましては1、2のものを除きまして、発育良好で体積に富み、品位、資質も優秀で、乳器もよく、尻の形状も良好でありました。特に前回の共進会で指摘しました過肥のものは殆んど認められませんでした。しかし欠点としましては、肩の附着、臍の位置、乳頭の配列の悪いものが多く、又頸の短いもの、運動不足による肢蹄の弱いものがかなり見受けられましたので、今後の若牛の改良育成に当りましては、これ等の点に更に一段と関心を高められますように切望いたします。

次に県内産経産牛につきましては、前回に比べて出品頭数も多く、これは共進会に対する皆様方の御認識が高まると同時に、本県乳牛界の躍進を物語るものでありまして、洵に喜ばしいことであります。

経産牛は全体的に乳用牛の特質、品位、資質のよいものが多く、又乳房の形状、質、或いは肩付、肢蹄の状態も良好でありました。しかし胸幅の足りないもの、臍のせまいもの、外腿の充実を欠くもの、下賺の浅い

岡山畜産便り1957.11・12

もの、乳区の均称を欠いているもの、運動不足により、体型の崩れているもの等が見受けられましたので、今後御注意願いたいと思います。

また今回は特に県外産の部を設けたのでありますが、出品点数が少なく、年令も不揃いでありまして、県内産のものが一段と向上しております今日におきましては、最早県外産の部を設ける必要性もない状態であります。

御承知の如く県におきましても、乳用牛の改良には特に力を入れているのでありまして、今回米国より優良な種牝牛も帰って参りますので、今後は本県内の優良な系統を基礎にしまして、更に一段と本県乳牛の改良に御努力を願いたいと思います。

五. 短評

県内産未経産牛の部で1等1席に擬しました13号の牛は発育良く、肉付も適度で各部のつり合いもよく、体積に富み背腰が強く、姿勢優美でありまして、洵に力強い乳牛らしさを表現しております。又乳器におきましても乳房の形状、附着、質、乳頭の配置が極めて優れております。しかし後軀におきまして臍の位置、坐骨の高さが少々低いことがおしい点であります、今回の出品牛中最も優秀と認めましたので、これを首席にいたしました。

次に同じく1等2席に擬しました17号の牛は発育が良好で、体積に富み体各部のつり合いもよろしく、よく乳牛としての特質を表現しておりまして、体型的にはむしろ13号よりも上位と思われませんが、乳器におきまして少々劣っておりましたので、これを2席にいたしました。

県内産経産牛の部で1等に擬しました29号の牛は、資質良好で体積に富み体各部の均称もよろしく、又背腰が強く体上線のしっかりした乳牛であります。

乳器におきましても乳房の容積、形状、質、乳頭の配置が共に良好でありました。しかし少々活気に乏しく輪郭不鮮明の点がおしい点でありまして、日常の管理が行きとどかなかつたためと思われ、乳牛の特質の表現に今一步と言う点が見受けられました。

次に2等1席に擬しました23号牛は輪郭鮮明で資質、体各部のつり合いよろしく、姿勢優美でいかにも乳牛らしく又乳器においても良好であります、しかし体積に乏しく体の緊りや下顎並びに胸部、後軀の充

実に少々欠けておることが惜しい点と思われま

す。県外産の部で1等に擬しました41号の牛は資質良好、輪郭鮮明で体各部のつり合いもよろしく、乳器におきましても乳房の容積、形状、附着、質等が共に良好であります、肩がゆるく肩後の充実に欠け、腰の状態や臍の位置等に少々難点が認められますが、今回の出品牛中最も難点が少なかったのをこれを首席といたしました。

次に2等1席に擬賞いたしました38号の牛は発育良好で体積に富み、資質も良好で背腰がしっかりしておりますが、少々乳用牛の特質に欠けると共に臍幅がせまくて内腿が厚く、乳器の発達が体軀に比較して少々貧弱でありました。

六. 将来改良上留意すべき点

以上の点を総合しまして今後の改良すべき点を申し上げますと次の様であります。

1 体型、資質の改善を図るため今一段と種牝牛の選定に御留意を願うと共に、特に1地区、1種牝牛による種付けは弊害を伴ない易いので御注意願います。

2 良質の粗飼料を豊富に給与して体軀の充実を図り、特に運動、日光浴を励行して筋腱、肢蹄を強健にし長期飼育に耐える乳用牛の造成に一層の御努力を願います。

以上の如く審査致しました結果、

第二部 乳用種々牛

県内未経産の部において

1等賞	2点
2等賞	4点
3等賞	7点
4等賞	4点

県内産経産の部において

1等賞	1点
2等賞	3点
3等賞	7点
4等賞	2点

県外産の部において

1等賞	1点
2等賞	1点
3等賞	2点
4等賞	3点

を選抜擬賞致しました。

謹んで褒賞の授与を申請致します。

昭和32年10月13日

第13回岡山県畜産共進会

乳牛審査部長 蔵知 毅

1等賞授賞名簿

第一部 黒毛和種々牛								
牝の部								
出品番号	名号	生年月日	資格	血統		産地	出品人	売非区分
				父	母			
16	第六津村	30.12.3		第三重利 黒三〇〇二	第四しんぷくまつもと 黒一一八四六	阿哲	阿哲郡哲西町 沖田洋美	売
牝の部(2才)								
58	第四たにもと	30.11.17		神花 黒四七九八	第二たまえ 黒三五三六八	阿哲	倉敷市新田 安田薫	売
50	第十一ながおか	30.12.18		第十四仙貫 黒二〇〇三	ながおか三 黒五三三三	新見	新見市草間 長岡敏夫	売
54	みわ	30.12.1		新富 黒四四三三	よしの 黒六三九四九	真庭	真庭郡美甘村 高橋久太郎	非
57	ひらの	30.11.20		第二藤花 黒四四九三	みのり 黒七六七三二	高梁	吉備郡足守町 川崎寿一	売
牝の部(3才)								
75	かげつ	30.7.5		山花 黒三二七七	第四みやかわ 予岡七三〇二	真庭	上房郡北房町 坂本実太郎	非
92	第十三もりはな	30.4.20		第三重利 黒三〇〇二	第十三もりはな 黒一一六五五二	阿哲	阿哲郡哲多町 藤井紋平	非
84	かみまさ	30.6.1		山栄 黒四二〇三	かみさと三 本黒四〇〇一	苫田	苫田郡奥津村 石原基忠	非
第二部 乳用種々牛								
県内産未經産の部								
出品番号	名号	生年月日	血統		産地	出品人	売非區別	
			父	母				
13	エムビー イムペリアル プライド 血一八八八三六	30.10.3	第六〇カーネーション ガヴァナーイム ペリアルラッド 北血八六六	エムビーロメオ セジスエムペラー 血一〇八二五三	邑久	邑久郡長船町 久米次彦	非	
17	インカバートン プリリー 血一八四〇二八	30.6.11	カーネーション バートンルンド ラッド 血三〇五八六	インカモードリン オクマタドーア 血七二〇八九	西大寺	邑久郡邑久町 山本弁一	非	
県内産経産の部								
29	チュンキー エコチレマック イムペリアル 血一二六三三八	27.2.15	第六〇カーネーション ガヴァナーイム ペリアルラッド 北血八六六	チュンキー チレマックバタープ ロス 血七二三二四	笠岡	笠岡市金浦 笠原丈夫	非	
県外産の部								
41	ランサーフェム コウエイ ファーロック 血一〇六五八九	26.1.16	SNSフェムコ ウエイコランサ ドン 血二八〇四〇	ランサーインカ ファーロック 血五六七二〇	静岡県	玉島市乙島 玄馬章二	非	

団体優勝

団体優勝	
優勝	第13回岡山県畜産共進会優勝旗一旒 黒毛和種々牛 阿哲畜産農業協同組合連合会 乳用種々牛 旭東酪農業協同組合
優勝	岡山県畜産農業協同組合連合会優勝旗一旒 高梁畜産農業協同組合連合会
優勝	岡山県酪農協会優勝旗一旒 旭東酪農業協同組合

畜産功労者表彰

岡山県知事表彰 新見市菅生 分 部 道太郎 真庭郡湯原町 永 井 政 一 優良家畜商表彰

優良家畜商表彰

岡山県家畜商協会長表彰 西大寺市南方 長 瀬 来 吉 小田郡美星町 吉 実 武 雄 津山市東一宮 築 山 竜 一

郡市別授賞点数表

郡市別授賞点数表											
郡市別	区 分	和牛 () 内数字は牡					乳牛 () 内数字は県外産				
		1等	2等	3等	4等	計	1等	2等	3等	4等	計
御津				3		3			2	1	3
赤磐					3	3					
和気					1	1		1			1
邑久							2	2	2		6
上道・西大寺								1			1
児島・玉野					2	2					
都窪・倉敷		1	2	4	5	12					
浅口・玉島					1	1	(1)	2	(1) 1	1	6
小田・笠岡				1	3	4	1			1	2
後月・井原				2	1	3					
吉備・総社		1	(1) 2	(1) 5	(1) 5	16			1	1	2
房・川・高		1	3	7	2	13			5	(3) 2	10
阿哲・新見		(1) 2	(4) 2	(1) 1	(4)	15					
真庭		1	1	(1) 4	(1)	8			(1) 3		4
苫田・津山		1	1		(1) 3	6					
勝田				2	2	4		(1)			1
英田											
久米					(1) 3	4		1			1
岡山											
計		8	16	32	39	95	4	8	16	9	37